

講演1 医療ワーキングチームの取り組みとコロナ禍での対応 竹内 聖典 氏



①大和郡山市自立支援協議会の医療作業部会の活動についての発表（かかりつけ医を作り、医療をもう少し生活のなかで身近なものに。医療従事者や地域の方に、障害特性をより知っていただくための継続的啓発）平成27年「安心して医療をうけるために」を作成し医療機関を訪問し、説明、配布することができました。

②コロナ下での対応（困った時は発信することが大事。支援者の知識・支援力向上を目指して活動していきたい。）



参加者の感想

- ・大和郡山市の自立支援協議会の取り組みがとても良く参考になった。地域資源作り、ネットワーク作り等に尽力されており協議会として理想的な役割を果たしておられる。
- ・医療的ケアは、地域の頑張りだけでは出来ないと考える。地域の病院と一緒にいかなければ障害（特に知的）がある方には難しいと思う。国県市町村が一体となり、そのような病院を作らなければならないのではと感じた。事業所がいくら利用者の思いを大切にサービス提供を行っても、医療的ケアの受け入れが充実しないと全てが事業所の負担となってしまう。家族のおられない方達にも施設を利用し安心して生活を送って頂く為に治療の同意書等検討が必要ではないかと考える。

講演2 劇症I型糖尿病のある障害者の生活について 北 好美 氏



自宅にて高齢のご両親による毎日の医療的ケアができなくなった場合、自宅以外で医療的ケアを受けながら本人らしく暮らすことができるのか？命の保証、暮らしの保証。医療的ケアを受けながら日中活動もできる場所の実現目指し、主治医、行政、訪問看護事業所等と協議を重ねました。その結果、現在はやすらぎの丘・たかとりワークスのグループホームで暮らしておられます。地域行政のご理解・ご協力で「医療的ケアが必要であっても本人らしく暮らせる」ことを実現した実例としてモデルにしていればと思います。

参加者の感想

- ・事業所としては、医療的ケアの方々も入所等受け入れをしたいとどこも考えていると思う。しかしながら、体調を崩された時の対応が本当に大変です。訪看の日数が決められていたり、通院するにも時間がかかったり、緊急搬送されると必ず家人が来院されなければ処置をして頂けなかったりするので、実際の受け入れは難しいと考える。（限定の受け入れは可）
- ・医療的ケアと日中活動の取り組み、たくさんの方の連携取り組みに敬意を表します。どんな方も地域で生活できるというモデルを作られたのではないかと思います。本当に今後も期待しています。
- ・グループホームで看護師が常にいてもらえればと思う。少しの体調不良でも安心できる場所が必要と思うので、医療的ケアが受けられる場所がこの先多く出来ればよいと思う。

知的障がい、発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病气やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの **あんしん保険**

少額短期医療総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

このようなお困り事に心当たりがある方に…

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの **こども傷害保険**

権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
[2020年1月作成 19-TC06633]

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社 保険セントラル

〒630-8451 TEL 0742-50-6600
奈良県奈良市北之庄町41-1 2F 201号 FAX 0742-50-6610

弁護士が全面的にサポート

3